

学年	高校1年	教科	芸術	科目	書道 I	単位数	2
教科書名		書I (光村図書)		副教材名	なし		
コース・クラス		中高一貫、選抜・N進、 スポーツ・芸能					

1. 目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

2. 授業のねらい

- ・用具用材の特徴を理解し、適切に扱えるようにする。
- ・古典に基づく基本的な点画や線質の表し方を理解し、その用筆・運筆の技法を習得する。
- ・字形の構造を理解し、全体の構成を工夫する。
- ・意図に基づく表現を構想し、工夫する。
- ・日常生活における書への関心を高め、その効用を理解する。
- ・見ることを楽しみ、書の美しさと表現効果を味わい、感じ取ることができるようにする。
- ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解する。
- ・漢字の書体の変遷、仮名の成立等を理解する。

3. 授業の進め方

- (1) 書の知識と実技について、全体説明と個人指導を行う。
- (2) 古典臨書を基にした創作を適宜行う。
- (3) 実用書、硬筆の練習を適宜行う。

4. 学習上の留意点

- (1) 用具用材を持参し、授業を受けること。
- (2) 用具用材の管理、備品や設備を適切に使うこと。
- (3) 提出物は必ず出すこと。
- (4) 技術の鍛錬、知識の習得、美的感覚の向上に努めること。

5. 定期試験

- ・定期試験期間の試験は実施せず、各単元終了時に実技テストを実施する。

6. 評価方法

- ・授業内での提出作品、単元ごとの実技テストによる評価、忘れ物、授業態度など。

7. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	ガイダンス「書写から書道へ」、 基本点画の練習	作品提出 実技テスト 授業態度	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な筆使いを理解して書くことができる。 ・長く楷書の基本として尊ばれてきた唐代の楷書の美を理解して、各作品の特徴を捉えて臨書できる。 ・北魏時代の楷書の特徴や文化、表現の多様性を理解し、創造的な表現に生かすことができる。
	5	漢字の書 楷書 唐の四大家に学ぶ、楷書の基本		
	6	・「九成宮醴泉銘」の臨書 ・「孔子廟堂碑」の臨書 ・実技テスト		
	7	・「牛欄造像記」の臨書 ・実技テスト		
二学期	9	行書 ・「蘭亭序」の臨書 ・実技テスト	作品提出 実技テスト 授業態度	<ul style="list-style-type: none"> 行書の特徴を理解し、多様な書風に関心をもつ。 ・「書聖」とよばれる王羲之の書の臨書を通して、行書の特徴を捉える。 ・隷書の書かれた背景を理解して臨書に取り組む。 ・書の一分野としての篆刻に興味を持ち、適切な技法によって制作することができる。
	10	隷書 ・隷書の基本を押さえよう		
	11	・「曹全碑」の臨書 ・実技テスト		
	12	篆刻		
三学期	1	仮名の書 ・仮名の成立と種類 ・仮名の基本的な筆使い	作品提出 実技テスト 授業態度	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名書の用具用材の扱い方、姿勢、執筆法を理解して書くことができる。 ・古筆の執筆法や表現を理解して臨書できる。
	2	・仮名字源、平仮名单体の臨書 ・仮名字源と単体のテスト		
	3	・古筆の臨書		

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。